

今後の方向性について

	これまでの取り組み	現状・成果	今後の方向性
オープンイノベーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> 大企業の課題にベンチャー等が提案するイベントの開催 ピッチイベントの開催 OIHシードアクセラレーションプログラム(OSAP)における大企業メインターとの連携推進 	<ul style="list-style-type: none"> ピッチイベント開催 50回程度/年 OIH外での民間のオープンイノベーション活動など、オープンイノベーションマインドは高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> オープンイノベーションマインド醸成の次の段階として、オープンイノベーションの実例が多く出てくるよう、取り組みの充実を図る。
アクセラレーション機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度よりOSAPを実施。上期・下期それぞれ10社ずつを支援 	<ul style="list-style-type: none"> これまで、計30社を支援し、大企業等との連携9件、総額16億円を越える資金調達 	<ul style="list-style-type: none"> 同様のプログラムを実施する自治体や民間事業者と連携を模索するなど、取り組みの充実を図る。
グローバル展開	<ul style="list-style-type: none"> 海外からの視察団、起業家、支援機関の訪問の受け入れ、意見交換の実施 国際的なピッチイベントの日本予選の開催 海外のイノベーション先進地域との連携強化 海外企業とのオープンイノベーションの実施 	<ul style="list-style-type: none"> フレンチテック、テルアビブとの連携協定 国際的なピッチイベントの日本予選開催(中国深セン、オランダ、米ピッツバーグ等) 米500Startups 及び深セン清華大学研究院とのメンタリング・ブートキャンプの実施 海外のイノベーション先進地域との交流を増加させている。(ベルリン、ロンドン、シンガポール等) 	<ul style="list-style-type: none"> 行政のもつ信用力を背景に、海外との交流に注力し、OIHをベンチャーの海外交流のゲートウェイにしていく。 相互交流提携を結んでいる地域(フランス、イスラエル)、日本予選の実績のある地域(深セン、オランダ、ピッツバーグ)、ベンチャーの国際交流事業を行っている企業(テックインアジア、Aniwoなど)、JETROや大阪商工会議所等の関係機関等と連携して、ベンチャーの海外展開と、海外ベンチャーの呼び込みを図る。 海外ベンチャーの呼び込みは、関西の大企業等との橋渡しをOIHが行うことで、関西への定着をめざす。
情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> メールマガジンやFBによる情報発信 国際会議の開催 国内外からの視察の受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 東京等におけるOIHの知名度向上。国内外からの視察増。 OIHメールマガジン購読者数 15,000名超。 	<ul style="list-style-type: none"> 大阪のイノベーション創出に関する取り組みの全体像が見えるように努め、「イノベーション都市・大阪」のイメージを形成する。 国内外の展示会の機会等を活用しPRを行う。
起業家人材を増やす	<ul style="list-style-type: none"> イベント開催や会員制度による人材の取り込み 各種教育プログラムの実施 海外ワークショップの開催 国際会議での起業家マインド醸成 	<ul style="list-style-type: none"> OIH会員(プレイヤー会員 約600人) 国際会議参加者 約700人 	<ul style="list-style-type: none"> 国内をベースにしつつ、海外の起業家の発掘にもつながるよう取り組みの充実を図る。
大学シーズ発等の事業化(0→1案件創出を含む)	<ul style="list-style-type: none"> イノベーション創出支援補助金(産学連携による研究開発事業に対する補助) ハッカソンの開催 大学とのテックミーティングの実施 大学訪問の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金支出件数63件 支援プロジェクト171件のうち、大学発案件8件 	<ul style="list-style-type: none"> 産学連携本部や、大学のファンドとの連携を強め、OIHで支援できることを検討し、進めていく。
民間等の関連団体との連携(OIHの自立化含む)	<ul style="list-style-type: none"> OIHでイベント共催 関西経済同友会によるメンタリングイベント、大商の実証実験、AIセミナー等との連携 関西大学・大工大の梅田キャンパスの開設、大手企業のオープンイノベーション施設開設やハッカソンイベントの開催、民間の支援施設の開設などを踏まえ、OIHの役割を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の団体等と連携し、事業を展開中 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き関連団体との連携の拡大・深化に努める。 行政の関与についてあるべき姿を踏まえながら、OIHの今後のあり方につき検討を進める。